



公益社団法人日本キャンプ協会
 全国一斉キャンペーン
Camping Safety 2019
 (7/1~8/31)

キャンプ安全の日
7月21日

夏の時期はアウトドアでの 事故やケガが多くなります！

夏休みの時期は、家族や友達同士でバーベキューやキャンプ、音楽フェスなど、アウトドアでのレジャーや自然を楽しむ機会が増える季節です。海や川、山など普段行かない場所に行ったり、初めての体験をしたりすると、日常生活とは違う状況にちょっと開放的な気持ちになってしまう人もいるかもしれません。しかし、普段行かない場所や初めての体験だからこそ、事前に正しい知識や理解を身に付け、荷物も心も万全の状態、楽しい思い出を作りたいものです。日本キャンプ協会では、キャンプの安全に関する様々な資料をウェブサイトにて無償提供しています。キャンプの安全 <http://www.camping.or.jp/download/#down2>

キャンプ中どんな場所でケガや事故が多いか知っていますか？

1位 打撲捻挫



2位 生物系

(虫刺され等、生物との接触を起因するもの)

BBQ

カセットコンロ
 着火剤 ガス缶
 花火 火傷

キャンプ場

熱中症 食中毒
 切り傷 擦り傷
 打撲 捻挫
 火傷

水辺

増水 水中生物
 悪天候 溺れ

3位 切り傷



4位 擦過傷

野山

疲れ 落石
 道迷い 動植物

施設屋外において発生した外科系傷病件数
 国立青少年教育振興機構による平成27年度発生
 傷病件数、活動内容別、傷病別集計の比較より
 【参照：事故データ・事例集 平成29年1月】

お子さんの行くキャンプは安全ですか？

キャンプに参加されるときは、内容や場所だけに注目せず、きちんとした資格を持つリーダーやスタッフが引率するキャンプなのかも気にしてみてください。集団でのキャンプでは特に、個人でのキャンプとは違った視点で安全を見極める力が必要です。資格を持つリーダーやスタッフは、資格の取得プロセスを通じて子どもたちの持つ良いところを引き出し、成長させる手助けについても学んでいます。キャンプを安全により楽しいものにするために、キャンプの資格は欠かせないものです。

<日本キャンプ協会公認指導者資格>

キャンプ
 インストラクター



キャンプ
 ディレクター2級



キャンプ
 ディレクター1級



キャンプの安全について知ろう！学ぼう！

公益社団法人日本キャンプ協会では、安全にキャンプを楽しむために気を付けたいこと、知っておきたいことをまとめたもの、初心者キャンパーのためのキャンプの基本をまとめたものなど、キャンプを安全に楽しんでもらうための情報提供をおこなっています。

ウェブサイトからダウンロードできます。
<http://www.camping.or.jp/download/#down2>



冊子：安全なキャンプのために（パート1～10）



パート3
野外料理



パート6
野山の活動



パート9
ファーストエイド

かるた：キャンプの安全いろはかるた



シート：CAMPシート（NO.1～11）



全国にある キャンプ協会ネットワーク

公益社団法人日本キャンプ協会には、全国47都道府県にキャンプ協会があり、各協会と連携してキャンプの普及を行なっています。活動規模は様々ですが、大人・子ども・家族向けに、キャンプを楽しむ事業やスキルアップの事業など、様々な事業を実施しています。

全国のキャンプ協会連絡先
<http://www.camping.or.jp/branch/>

「キャンプ安全の日」キャンペーン 7月21日「キャンプ安全の日」

公益社団法人日本キャンプ協会では、毎年7月の第3日曜日を「キャンプ安全の日」と定め、その日を含む7月～8月を「キャンプ安全の日」キャンペーン期間とし、安全なキャンプのための情報提供や啓発活動を積極的に行なっています。

夏に増えるアウトドアでのキャンプや自然体験活動でのケガや事故が少しでも減り、キャンプの思い出が楽しいものになることを願っています。

Camping Safety